

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	船舶安全工学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0023			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリント 参考教科書は安全工学講座シリーズ：安全工学協会編(海文堂)						
担当教員	湯田 紀男						
到達目標							
船舶における災害の原因と経過の究明及び制御、防止に必要な知識、技術の応用を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
災害防止の基本原則や因果モデル等の知識について理解できる		十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない	
安全管理手法等に関する知識について理解できる		十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない	
人間工学や信頼性工学、品質工学等の分野との関連や応用について理解できる		十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E3							
教育方法等							
概要	毎回 1 テーマ完結で授業を進めていく						
授業の進め方・方法	毎授業ごとに資料を配付する。 パワーポイントによる説明を行うので、必要な部分は各自でメモをとること。						
注意点	1単位について自学自習時間を30時間必要とします。 毎回課題を出しますので、内容をレポートにまとめて必ず提出して下さい。 試験は実施せず、小テストは小論文形式で適宜実施することとします。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業方法や学習の仕方の理解できる		
		2週	災害防止の原則		災害防止の原則の理解ができる		
		3週	因果モデル		因果モデルについて理解ができる		
		4週	人間の特性とヒューマンエラー		人間の特性等について理解ができる		
		5週	マン・マシン・インターフェイス		マン・マシン・インターフェイスについて理解できる		
		6週	信頼工学的アプローチ		信頼性工学等について理解できる		
		7週	船舶、港湾施設等の安全対策等の事例調査		安全対策等について理解できる		
		8週	海難事故と保険		海難事故や保険等の理解ができる		
	2ndQ	9週	国際航路と海賊		国際航路と海賊の理解ができる		
		10週	安全管理手法		安全管理手法について理解ができる		
		11週	法的側面からの災害防止対策		法的災害防止対策の理解ができる		
		12週	労働安全衛生の環境整備		安全衛生の環境整備の理解ができる		
		13週	船舶医療		船舶医療の知識の理解ができる		
		14週	船舶医療支援システム		船舶医療支援システムの理解ができる		
		15週	インシデントと潜在危険		インシデント、潜在危険の理解ができる		
		16週					
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	80	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
知識の基本的な理解	0	0	40	0	0	0	40
思考・推論・創造への適応力	0	20	0	0	0	0	20
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	40	0	0	0	40
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0